年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　７組

教科担当者：坂本

使用教科書：（ 東京書籍　情報Ⅰ　Step Forward!　　）

教科　情報　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】効果的なコミュニケーションの実現のために、コンピュータやデータの活用について理解し技能を身につ

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。

【学びに向かう力、人間性等】問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・情報とその特性 ・メディアとその特性	・Society5.0から情報Iの学習目標とシラバスを理解する。 ・実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・情報とは何か理解する。 ・情報の信憑性を評価する方法を理解する。 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 情報の特性を理解し，その利点と欠点について科学的に深く理解することができる。 【思考・判断・表現】 情報の評価をし，物事を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の特性を理解し，その利点と欠点について	○		○	8
	・情報の収集と分析 ・解決方法の考案	・情報を収集するための手段を理解する。 ・問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。 ・問題解決の各手法と整理方法を学習する。	【知識・技能】 情報収集の方法を理解し，その技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 収集した情報を表計算ソフトウェア等を用いて表現して分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的の情報を得るために検索の方法を工夫して収集し，分析しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	知的財産と個人情報	・知的財産権で保護される権利について，具体的な事例も含めて詳細に解説する。 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 個人情報がどのように守られているか，情報技術をもとに科学的に理解している。 【思考・判断・表現】 個人が特定される可能性がある箇所について，科学的な根拠をもとに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 個人情報を取り扱ったり，危険性のある身近な具体的な場面を例示して，気づきを促す。	○		○	8
	情報セキュリティと情報モラル	・不正アクセスの事例や，危険性のある身近な具体的な場面を例示して，気づきを促す。 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 情報セキュリティについて，その仕組みを含めて科学的に深く理解している。 【思考・判断・表現】 セキュリティ上よいとされるパスワードを考え，漏洩しない管理方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティを意識して，積極的に行動していこうとしている。	○	○	○	8
				○	○		1
2学期	情報技術の進歩と役割とコミュニケーションとメディアについて学ぶ 情報技術が社会に与える光と影	・情報化が進展すると，暮らしや社会がどのように変化していくか，進展に伴うメリットとデメリットも含めて考える。 ・身の回りの端末に活用されている情報システムの例を考えることができる。	【知識・技能】 情報技術の進歩の具体例について，仕組みを含めて深く理解している。 【思考・判断・表現】 情報技術の進歩により生活がどのように変化していくか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術の進歩による生活の変化に参画して	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	アルゴリズムの表現と効率性 プログラムの仕組み プログラミング入門	・正確かつ効率のよい，目的に応じたアルゴリズムを考える。 ・ペアやグループなどでの話し合いや相互評価をするなど，状況に応じて教え合いを促す。	【知識・技能】 さまざまなアルゴリズムの表現を理解する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 問題解決の手順を考えて，効率のよいアルゴリズムで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の手順をアルゴリズムで表現しよう	○	○	○	12
3学期	さまざまな情報システム 情報システムの信頼性	情報システムを信頼して使える工夫について，仕組みに基づいて深く理解する。	【知識・技能】 情報システムの種別と，それぞれの仕組みを深く理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの端末にさまざまな場面で活用されている情報システムを複数考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティを意識して，積極的に行動	○	○	○	5
	データの管理、データの収集と種類 データの分析	データの性質を把握して，適切な処理方法を判断する。	【知識・技能】 データの管理と召集の方法について、その仕組みを理解すことができる。 【思考・判断・表現】 セキュリティ上よいとされるパスワードを考え，漏洩しない管理方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4 合計 70